

食品保健指導士会会報

〔第15号〕

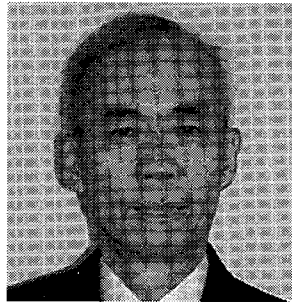
■発行：平成19年4月1日
■発行所：食品保健指導士会

東京都新宿区市谷砂土原町2-7-27 TEL. 03-3268-3160 FAX. 03-3268-3373
(財団法人日本健康・栄養食品協会教育研修部内)

『食品保健指導士の皆様へ』

(財) 日本健康・栄養食品協会

事務局長 藤嶋 英二郎



私が、当協会に着任してから早いもので、ほぼ一年になるうとしていきます。

食品保健指導士という資格は、着任して初めて知りました。私は、平成五年一〇月から平成七年三月の間、新開発食品保健対策室に在籍して

いましたが、当時は特保の第一号が許可された年で、食品衛生法や栄養改善法の改正などがあった、大変忙しかったことを覚えていきます。

食品保健指導士の制度は平成一三年度にスタートし、現在までに七八三名の指導士さんが誕生しています。世間に対しての認知度が低いことが残念でたまりません。四月に着任し、右も左も分からないうちに教育研修部長が五月に退職し、教育研修部長事務取扱を命じられ、講習会の状況等を実際に拝見し、大変な勉強をしていることを痛感しました。しかし、資格を取得した後、指導士会に入会している人は半分くらいであると知り、なんのために資格を取ったのか、何故、入会しないのか疑問に思っています。

また、入会している人でも、プライバシーを理由に連絡先すら分からない人がいると聞いたこともあります。人間、この世に生まれてから一体、何人の人と巡り会えるのでしょうか。縁は異なるもの、味なもの、と言うように自分と異なる人たちと巡り会って、しかも、こんなに大変な勉強を一緒に受けた仲間であれば、同窓心を持つものと思えますが、いかがでしょうか。生まれも違う、仕事も違う、考えも違う、そして食品保健指導士としてのキャリアも違う人たちが、いろいろな問題で切磋琢磨していつてこそ、生涯教育と言う究極の目的が達成できるのではないのでしょうか。皆さんの、積極的な参加をお願いするものであります。

最後に、私事で恐縮ですが、東京地区の方々とは何度か懇親会に出席させていただき、いろいろな方と親睦を深めました。また、協会の展示ルームにおいていただいている指導士さんには、この一月から一般消費者からの電話相談業務をお願いしているところでもあります。未来に向かって、食品保健指導士さん達の益々のご活躍を願うものです。



“仲間”力発揮を！

食品保健指導士会 会長 杉浦 上太郎



平成一四年四月一日に誕生しました食品保健指導士会（以下指導士会と記す）ですが、まもなく満四年を過ぎようとしております。

当時の食品保健指導士（以下指導士と記す）は、一一一名でしたが、今では、七八三名と七倍の多きを数えるに至っております。

指導士はご承知のとおり決して公的な資格ではありませんが、保健機能食品を活用して、生活習慣病を低減させたいとする厚生労働省の要望に応じて誕生したわが国初のアドバイザリースタッフである「食品保健指導士」は、“準公的資格”といつて良い職能でありましょう。

すでに多くの方は、指導士の職能において、地方自治体や消費者団体、企業からの要望に応じて講演活動やアドバイス活動等、実践的に活躍されています。また日々の企業や医療の現場の中でも、指導士としての専門職能は適切な業務の遂行に生かされているものと思われまます。

我々の母体であります（財）日本健康・栄養食品協会（以下日健栄協と記す）と、指導

士との関係も益々深まっております。現在一〇名ほどの指導士が昨年からスタートした日健栄協一階展示ルームの来訪者への説明業務に加え、本年一月からは、消費者からの電話相談への指導対応も行っております。

また随所において、指導士相互の交流も盛んに行なわれております。千葉・東京・関西地区の指導士の集いをはじめ、同期生や気の合う“仲間”としての交流もあります。

益々混沌とした様相を深めようとしている「健康食品市場」において、消費者の健康維持・増進や業界の健全な発展のためには、国際的視野にも立脚した日健栄協と指導士の本来的機能を発揮することが強く求められるところでありまます。「産」「官」「学」の連帯も不可欠でありましよう。日健栄協にはその核となつていただき、その上で、私も指導士会も、指導士個々がもっている基本的ポテンシャルに即した協力を精一杯させていただきますと願っております。

さて、皆さまのご支援によつて第一期・二期を務めて参りました幹事四名（全六名中）は、この三月末日をもって任期満了となつて退任いたします。多くの宿題を残してしまつたことをお詫びしつつ、今までのご支援に対し厚くお礼を申し上げる次第です。

なお今後の新しい指導士会体制におきましては、さらなる充実・発展を果たしていくために、会員各位のなお一層の参画意欲をもつてご協力いただきたく深くお願い申し上げます。次第です。

真の“仲間”集団を形成しましょう。

【公示】『幹事改選』ご案内

当会は、現在六名の幹事で運営しておりますが、内四名は会則に従い、三月三十一日付けにて任期満了となりましたので、広く後任の幹事を募集いたします。

◆募集期間◆

平成一九年四月二〇日まで。

◆選挙管理委員会◆

日健栄協教育研修部内の食品保健指導士会事務局に置き、現幹事会がその任に当たります。

◆募集方法◆

自薦、または同期生・お仲間中から他薦をお願いいたします。書面にて意思表示をして下さい。

（FAX可）。03-32698-3373

◆幹事候補者決定◆

幹事会及び日健栄協において協議の上とします。

◆最終決定◆

五月開催予定の通常総会において会員の承認を得て最終決定とします。

食品保健指導士会



『食と薬の相互作用』 (シリーズ4)

幹事 池田 千恵子

前回は栄養機能食品のビタミンと薬物の相互作用について記載しました。
今回は特定保健用食品との相互作用について記載します。

3. 栄養機能食品と薬物の相互作用

◇特定保健用食品に利用されている成分との相互作用

- ・おなかの調子を整える食品のオリゴ糖類・水溶性の食物繊維
- ・コレステロールが高めの方に適する食品の植物ステロールエステル
- ・血圧が高めの方に適する食品の杜仲葉配糖体・ペプチド類、
- ・食後の血中中性脂肪を抑え、体脂肪がつきにくい食品のEPA
- ・骨の健康が気になる方に適した食品の納豆菌

上記の成分を含んだ商品が下記の薬物との相互作用がありますので、それらの健康食品を摂取するときには、医師や薬剤師に相談することが必要です。

保健機能成分	薬物	作用
大豆オリゴ糖、乳果オリゴ糖、 ラクトオリゴ糖、ガラクトオリゴ糖	速効性タイプの糖尿病薬	血糖値過度低下
フラクトオリゴ糖、乳果オリゴ糖、 ガラクトオリゴ糖	カルシウム剤	カルシウムの吸収促進
乳酸菌類	抗菌剤 (抗生物質・化学療法剤)	乳酸菌類効果減弱
水溶性の食物繊維 (ポリデキストロース、難消化性デ キストリン、グアーガム分解産物低 分子アルギン酸 Na、難消化性でん ぷん)	速効性タイプの糖尿病薬	血糖値過度低下
植物ステロールエステル	脂溶性の高い薬剤	吸収低下
杜仲葉配糖体	K カリウム剤、カリウム制限者	K 過剰
ラクトトリペプチド、かつお節オリ ゴペプチド、カゼインドデカペプチド などのペプチド類	ある種の降圧剤 (ACE 阻害剤)	副作用の咳の可能性
EPA	抗凝固作用薬剤 (ワルファリ ンなど)	出血傾向大
ビタミン K ₂ 高産生納豆菌	ワルファリン	抗凝固作用減弱
難消化性デキストリン グアバ茶ポリフェノール 小麦アルブミン L-アラビノース 豆鼓エキス	速効性糖尿病薬	血糖値過度低下
大豆イソフラボン	乳癌の抗癌剤 (クエン酸タモ キシフェン)	抗癌作用の減弱 (抗エストロゲ ン作用)

(次号に続く)

食品保健指導士向け『参考図書紹介』



『医薬品-栄養素の相互作用』

人間栄養に必要な医薬品の知識

＝著者 Yvonne Coleman／監訳者 細谷 憲政＝

- 医薬品 600 成分の「栄養への影響」「栄養管理」を明示
- 根拠となる文献リストも掲載
- 医療・栄養専門家必携のわが国初の実務書

- 体 裁 B5 判 239 頁
- 発 行 第一出版株式会社
- 発行日 平成 19 年 1 月 30 日
- 定 価 3,675 円 (本体 3,500 円+税 5%)
- 送 料 300 円

【監訳者 細谷 憲政】

本書は、医薬品による食べ物の消化・吸収、栄養素の体内代謝に対する影響、食欲等について述べると共に、約 600 点の医薬品を「作用」「栄養への影響」「有害作用(副作用)」「病態(血液)」「栄養管理」という 5 項目に分けて簡潔明瞭に解説している。

オーストラリアのベテラン臨床栄養師が長年にわたって研究・検討した貴重な資料の翻訳であるが、わが国でも管理栄養士・栄養士をはじめ、医療・薬剤・看護・介護・福祉・保健など多領域の関係者にとって有用な資料となろう。

＝食品保健指導士向け「特別協賛価格！」＝

このたび、第一出版(株)の好意により、食品保健指導士の社会的職能に協賛をいただき、本書を特別条件にて購入できることとなりました。

関係各位の活用をお勧めいたします。

◆通常価格(税込み 3,675 円+送料 300 円):3,975 円

⇒ ◆特別協賛価格(送料込み):3,300 円

◎申込方法：下記の申込書に必要事項を記入の上 FAX にてお申込み下さい。

◎支払方法：本書に同封される郵便振替用紙にてお支払下さい。

◎期間限定：平成 19 年 4 月 30 日注文まで有効

✂ キリトリ線

第一出版(株) 御中
FAX 03-3291-4579

『医薬品-栄養素の相互作用』申込書
(食品保健指導士)

1 冊 ¥3,300 (特価)
注文数 冊

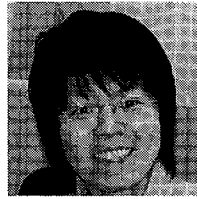
送付先	(〒 -)		
施設名		電話	
氏名		FAX	

指導士の活躍情報

新分野の「ヒューマン・ケア科学博士」となった岸本指導士より研究の経緯に関する原稿をお寄せいただきました。岸本指導士の研究成果を共に喜び合うとともに、今後の益々の活躍を期待したいと思います。

筑波大学大学院 人間総合科学研究科
ヒューマン・ケア科学専攻
保健医療政策学分野

食品保健指導士／岸本 真弓



今年初め、情報番組などに見られる、健康情報の氾濫・誤った情報の流布などが社会問題化しました。この事件からも、消費者の健康情報への関心の高さが明らかとなるとともに、情報によって行動が大きく左右されてしまう実態が示されました。私たち食品保健指導士に求められています。「消費者が、健康食品について正しく理解し有効に利用できるようにするために、消費者からの相談に適切に応じられる専門家」としての職能を発揮することが求められているとさせていただきます。

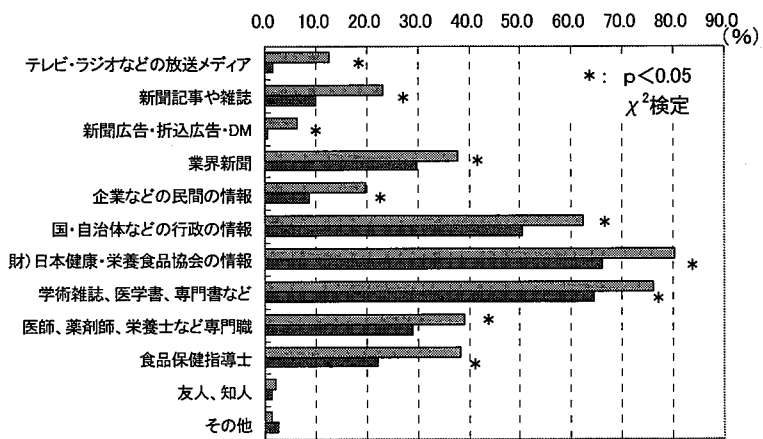


図. 健康食品(保健機能食品・いわゆる健康食品)の情報源で信頼できるもの

昨夏、食品保健指導士のみなさまを対象としたアンケート調査をさせていただきました。みなさまには多大なご協力を頂き、ありがとうございました。ごさいました。(詳しい集計結果については、すでに杉浦会長より会報紙面でご紹介いただいております。)回答を寄せてくださった方、ほぼ全員が「食品保健指導士資格を活かした活動をしたい、すでにしている」との結果を得ました。また、情報源に関する項目

表. 健康情報に関して今後望むことについて

	n	%
今後の活動のために必要と思う情報		
・医薬品・食品との相互作用に関する情報	192	80.7
・行政の動向についての情報	162	68.1
・栄養・食品にかかる最新情報	159	66.8
・関係法規の情報	152	63.9
・いわゆる健康食品に関する動向	147	61.8
・保健機能食品の動向・新規の製品など	140	58.8
・海外の市場情報や学術研究に関する情報	113	47.5
・JHFA食品の動向・新規の製品など	91	38.2
・財)日本健康・栄養食品協会の情報	91	38.2
・調査・研究機関・学術誌の活動状況	82	34.5
・教育・研究部門の取り組みなど	53	22.3
・独立・起業の支援、援助、連携についての情報提供	41	17.2
・その他	3	1.3
消費者に対する情報提供のために有効な方法		
・自治体の健康教室等の相談業務の開設	146	61.3
・講演会やセミナー講師の登録派遣事業	109	45.8
・スーパーや小売店での相談業務の開設	90	37.8
・学校や幼稚園等の教育機関での講演	82	34.5
・広報等や情報誌で栄養情報に関する記事を執筆	81	34.0
・企業に対する情報提供サービスの提案など	64	26.9
・その他	17	7.1

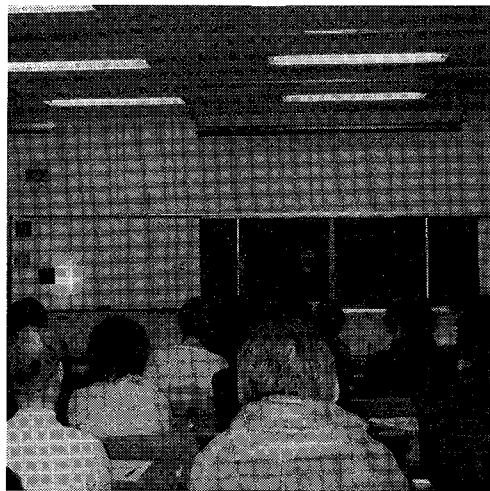
においては、財団法人日本健康・栄養食品協会発信の情報・国などの行政機関発信の情報・医学書・学術誌などに信頼を寄せ、活用なさっている姿が明らかになりました。これは、先行研究などで報告されている消費者の健康情報の収集行動とは異なるものです。食品保健指導士がより高い専門性と知識を有していることの表れでもありと考えます。この結果については、日本疫学会第一七回学術総会にて、「健康食品の情報提供に関する食品保健指導士の意識に関する調査研究」として報告いたしました。(Supplement to Journal of Epidemiology 17(1): 112; 2007)

また、この調査では、今後についての展望・期待についても、ご意見を多くいただくことができました。社会の関心が高まっている昨今、食品保健指導士が具体的な活動を実践していくための取り組みをより活性化させる契機ではないでしょうか。私は、今回の調査の分析も含めた研究をまとめたことにより、博士（ヒューマン・ケア科学）の学位を頂き、この三月に大学院を修了いたします。これからは、食品保健指導士として得た学びを糧として、適切な情報提供の推進や、健康食品のよりよい活用に向けた取り組みに携わってまいりますと願っております。みなさまとの情報交換や指導士会を通じた研鑽の機会を楽しみにしております。今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

岡村澄子指導士のコーディネートによる消費者講座で尾川利恵子指導士の講演が行われました。多くの指導士が応援にかけつけました。

- ◆開催月日：平成一九年一月二十九日
- ◆開催場所：大田区立生活センター（東京）
- ◆主 催：大田区食生活研究会
- ◆講 師：尾川利恵子食品保健指導士（漢方薬・生薬認定薬剤師・臨床検査技師）
- ◆演 題：「薬食同源」Ⅱ生活に身近な食
物から考える漢方生薬Ⅱ

今回の講演が実現した背景は、大田区食生活研究会を主宰する岡村澄子食品保健指導士（管理栄養士）の企画によるものでした。五〇人ほどが入る会場は、満席状態となり大盛況でした。



講演をする尾川指導士

講演内容は、漢方の基本的な考え方について、「陰陽五行説」に由来する五味（酸・苦・甘・辛・鹹）、五色（青・赤・黄・白・黒）と食物の性質Ⅱ四気Ⅱ（熱・温・寒・冷）等について分かりやすく説き、最後は身近な漢方生薬として、梅、杏、ナツメ、クズ、生姜、ハッカなどの効用と活用法を紹介し、参加者より大好評を博しました。
阿部真・杉浦上太郎・成田幸恵・松山理恵子・安田一・吉池修の各指導士も応援に駆けつけ、食品保健指導士会のすばらしいチームワークぶりを発揮した一日となりました。

ミニコンサートとのコラボレーションによる杉浦上太郎指導士の講演会、二八〇名の大盛況でした。

- ◆開催月日：平成一九年二月一三日
- ◆開催場所：柏市「アミューゼ柏」（千葉）
- ◆主 催：柏市生活クラブ、柏市消費者の会
- ◆後 援：柏市、とうかつ千産千消の会
- ◆講 師：杉浦上太郎食品保健指導士
- ◆演 題：「知ってる？サプリメントの真実」

柏市内の有力な消費者団体と柏市が協力して行う年間最大のイベントに、サプリメントに係るテーマが取り上げられました。会場も柏市の協力によって、JR柏駅近く、規模が大きい「アミューゼ柏」を拝借することができました。

杉浦上太郎指導士の講演内容は、二部構成。一部では健康食品に係る基本的な内容を具体的に、二部では日常生活の留意点（野菜・油・ストレス）について分かりやすい解説が行われました。
時間の都合上、多くの質問に対応し切れませんでした。後日、質問者全員へ回答書を郵送する方法で対処しました。
講演後、ミニコンサートの準備の間、挨拶に立たれた柏市消費生活センター所長の鈴木宏晶氏に、杉浦食品保健指導士より、今後、



講演をする杉浦指導士

日健栄協の支援も得て「市民健康シンポジウム」へと発展させることを提案して終了となりました。

大阪府高石市で初の公的講演会の講師としてデビューした坂口陽子指導士。五五名の大盛況でした。

滋賀県 坂口 陽子

◆開催月日：平成一九年三月七日

◆開催場所：高石市役所別館（大阪）

◆主催：大阪府高石市経済課消費生活

の会

◆参加人数：五五名

食品保健指導士として初めて公的な講演を

させていただきました。

栄養士食生活アドバイザーとして、栄養面の講演や料理セミナーは、極度の緊張もなくこなして参りましたが、この度は協会からの依頼であることに、大きな責任を感じ緊張いたしました。しかし、杉浦会長のアドバイスを頂戴し、とても心強く、無事終了させていただきました。当日は女性が五二名、男性が三名参加され、「反応」がいただける形でお話をいたしました。協会のこと、特保・JHFAの説明から始まり、サプリメントの選択方法、食改善の必要性、微量栄養素（ビタミン・ミネラル）、酵素の必要性、栄養素の無駄のない吸収の方法、また、主婦は家族の命の綱をしつかり握って毎日を送っていただきたい旨をお伝えいたしました。

居眠りをされる方もなく、あいち等で多くの反応をいただき、消費者の方は健康食品への興味がとても深い事をいっそう感じました。また、参加された他の組織からの講演依頼もいただき、身に余る思いでした。私にとりまして大変有意義な講演会であり、ステップアップさせていただいた一日でした。

私自身も発展途上であり、刻々と変化する業界の情報にしっかりとついていくために、精進して参りたいと思っております。

今後共、皆様のご指導を賜りますようお願い申し上げます。



奈良県食品・生活相談センター主催「健康食品アンケート調査」発表会に池田千恵子指導士が出席し、堂々と言見発表をしました。

奈良県食品・生活相談センターは、二月二日、健康食品についての消費者意見調査を発表した。調査は昨年九月から一〇月にかけて、県内の消費者一、〇〇〇人を対象に実施し、七八八人から回答を得た。健康食品をどう思うかを聞いたところ、「健康によさそうな気がする」が七四・一％で最も多かった。反対に「かえって健康によくない」と捉える消費者も三・八％いた。健康食品を利用したことがある割合は九三・三％という高率。利用目的は、「健康維持」が五二・一％、「栄養成分の補給」が四〇・八％、「疲労や体力の回復」が二五・四％、「病気の治療・予防」が一四・八％などと続く。素材別の利用状況を調べてみたところ、最も支持を集めたのは「乳酸菌・ビイズ菌類」で七〇・三％、以下「健康茶」が五六・六％、「ビタミン類」が五一・七％、「キシリトール」が四八・八％であった。

以上「健康産業新聞」記事より転載
（平成一九年三月七日発行）

その他に、広告やパッケージの表現については、「あまり信用できない」が五六・二％と「ほぼ信用できる」とする八・二％を大幅に上回っていました。「栄養機能食品」と「特定保健用食品」の「内容をよく知っている」としたのは、夫々三三・五％、四三％でした。

◆ 人材募集 ◆

「食品保健指導士」の活躍を期待しています！

- 職 種 : ・お客様相談窓口スタッフ (プロダクト担当)、正社員もしくは契約社員
- 募集人員 : ・1名
- 仕事内容 : ・コールセンターでの電話・e-mailによる対応、運営サポート
・当社に登録しているディストリビューター・買うだけクラブメンバーからの主に製品に関する問合せ・相談・苦情等の解決
- 応募資格 : ・食品保健指導士の資格を有すること
・食品 (特に栄養補修食品) のお客様窓口経験があれば尚可
- その他 : ・グループリーダーをサポートする立場として、後進の育成にもご協力いただきます
・栄養補給食品のほか、化粧品、トイレタリー用品、キッチン用品等の対応も行います
- 年収目安 : ・当社規定により優遇 (固定給制)

補
足
事
項

- 勤 務 地: 日本アムウェイ(株)渋谷本社 東京都渋谷区宇田川町 7-1
- 勤 務 時 間: 始業 9 時・終業 17 時(実働 7 時間)
- 休 日: 週休 2 日(土、日/月 1~2 回土曜日出勤あり、出勤した場合は代休取得)、
祝日、年末年始 8 日間
- 昇給及び賞与年 1 回
- 交 通 費: 公共機関交通費全額支給
- そ の 他: 各種社会保険完備
- 応 募: 履歴書(写真貼)・職務経歴書を下記へ郵送。4/10(火)消印有効。
(応募書類は採用選考の目的以外には使用しません)
書類選考後、面接(2~3 回)と適性テストを予定しています。

問
合
せ
先

〒150-0042 東京都渋谷区宇田川町 7-1
日本アムウェイ(株) 人事部
担当: 千葉
TEL: 03-5428-7110 弊社 HP
メールアドレス: human@amway.co.jp http://www.amway.co.jp/

食品保健指導
士会承認広告

食品保健指導士会活動状況

- 平成一八年度第七回幹事会
- ▽ 平成一八年度二月一四日(木)
- ▽ 於(財) 日本健康・栄養食品協会 1F
- ▽ 出席幹事/杉浦会長、淀川副会長、石井・池田・能美幹事(五名)
- ▽ オブザーバー/日健栄協・藤嶋事務局長、岩浪課長(二名)
- ▽ 議題/①秋期研修会実施結果の件、②会報第一四号発行の件、③会費納入状況の件、④教育研修部活動情報の件
- 平成一八年度第八回幹事会
- ▽ 平成一九年一月一日(木)
- ▽ 於:ロイヤルパークホテル内レストラン
- ▽ 出席幹事/杉浦会長、淀川副会長、池田・河村・能美幹事(五名)
- ▽ オブザーバー/日健栄協・斎藤教育研修部職員(一名)
- ▽ 議題/①会報第一四号発行報告の件、② Web Page 作成の件、③平成一九年度事業計画の件

「トクホごあんない2007」完成!

(財) 日本健康・栄養食品協会 特定保健用食品部のご厚意により、食品保健指導士会会員(会報送付者)に対し一部無償配布されます。別途購入希望の方は、協会会員価格二百円(送料別)にて提供を受けられます。